本丸中学校　　中野　壱咲（なかの　いっさ）

悲しみ、憎しみ、そして多くの犠牲を生みだした、あの一発の原爆。

そして今年７月７日には、多くの国の賛成のもと、核兵器禁止条約が起草されました。この条約による平和を願います。

あの瞬間から今まで原爆の恐ろしさを伝えてきた、原爆ドームを一目見たとき、私は、当時の広島が思い浮かび、そんな姿を二度とつくってはならないと思いました。そのために私たちが後世に伝えるべきことがあると感じました。

第一中学校　　五十嵐　万代（いがらし　まよ）

７２年前、一発の原子爆弾が広島のたくさんの大切なものを奪いました。

私は初めて広島に訪れ、一人ひとりの命の尊さやありがたみを改めて感じました。自分が今、生かされている事への感謝を忘れてはいけないと気づかされました。

この７２年前の広島の願いや想いを未来へ繋ぐことは私たちの使命であり、それはこれからの世界に平和をもたらす、大きく大切な、一歩であると思います。

猿橋中学校　　中村　菜乃葉（なかむら　なのは）

原爆による犠牲者を二度と出してはならないと広島平和記念資料館にある遺品や原爆投下の再現 VTR を見て強く感じました。

そして、この悲劇を風化させない為に後世の人々に語り継がなくてはならないと思いました。「今ある平和な日常がいかに幸せか、戦争と原爆を生き抜いた方々の努力によって今日の平和がある」ことを忘れず、「核兵器廃絶、二度と戦争の惨禍にさらしてはいけない」という誓いを訴え続けます。

東中学校　　岡本　詩桜（おかもと　しおん）

あの日、広島の空に一発の原子爆弾が放たれました。それにより、人々は多くの命と夢を、そして日常を失うことになりました。

私は平和記念式典に参加し、資料館などを訪れることで、原爆の恐ろしさ、今生きていることへの喜びを学びました。

もう、悲しみ、苦しむ人がでないよう、同じ悲劇を繰り返さないよう、私たちが経験を生かし、伝えていかなければならない。私は強く胸に思いました。

川東中学校　　石井　薫（いしい　かおる）

今回の広島訪問で改めて原爆の恐しさを感じた。資料館では、溶けた瓶や写真を見て二度と起こしてはいけないと思った。ある外国人の方が手紙を見て涙を流していたのを見た。悲しみは、国境も超えるんだなと思った。原爆は、たくさんの人の命や生きる希望など、全てを奪っていった。また同じような惨劇を起こさないために、後世に語りついでいくこと。それが今の僕達の使命だと思う。

七葉中学校　　小田島　優輝（おだじま　ゆうき）

一発の原子爆弾が広島に落とされてから七十二年。平和式典に参加し、原爆・平和・未来について考えさせられた。資料館で見たボロボロの服や八時十五分で止まった時計。どれを見ても心が痛み戦争の悲惨さを感じた。平和への誓いで「原爆によって家、家族、自由、笑顔、感情が失われてしまった。」という言葉が印象に残った。被爆者の話が聞けるのは僕達が最後の世代。二度とこんな悲劇が起こらない社会、未来を創る為出来る事をやりたい。

佐々木中学校　　五十嵐　清華（いからし　さやか）

私は、原子爆弾が投下されてから七十二年が経った広島を訪れ、平和記念式典に参加してきました。そこで私は、今では当たり前で些細な事が、どれだけ幸せなことなのかを知ることができ、それと同時に、改めて戦争は辛く、原爆は恐ろしい物だと感じました。

唯一の被爆国である日本。伝えていくべきことは山ほどあります。「戦争も核兵器も不要なもの」ということを、何十年、何百年が経っても語り継がれていくよう、私は自分の感じたことを伝えていきたいです。

豊浦中学校　　青木　朗衣（あおき　ろい）

私は平和記念式典に参加し、資料館で多くの写真や遺品を見て、原爆の恐しさや平和の大切さを知ることができました。

原爆が投下されて七十二年、現在は被爆者の高齢化で原爆の恐ろしさを語り伝えることは難しくなっています。だからこそ、私たちが次の世代へと語り継いでいくことが大切です。そして全世界に対して核兵器廃絶を訴えなければなりません。

これからも平和であるために。

紫雲寺中学校　　片原　悠介（かたはら　ゆうすけ）

「あの恐ろしい惨劇をもう起こさないでほしい。」そんな願いと共に参加しました。

この恐ろしい原爆は、街や人々からたくさんの大切なものを奪います。多くの人の人生を狂わせます。そんな原爆を許すわけにはいかないと思いました。

二度とこのような事を起こさないでほしいと日本だけでなく、世界中で願ってほしいと思います。この気持ちを多くの人に共有し、みんなで平和な世界を願い続けたいです。

加治川中学校　　長谷川　純平（はせがわ　じゅんぺい）

７２年前の８月６日、広島に一発の原子爆弾が落とされ、多くの尊い命が失われました。

今回私はこの事業を通し、平和記念式典に参加し今もなお戦争の爪跡の残る広島を見て絶対に戦争をしてはいけない。核はあってはならないと思いました。

資料館には被爆した人の体への影響など目を背けたくなるものでした。ですが、その現実と向きあっていくことが平和への第一歩なのだと思います。そしてもう二度とこのような悲劇がおこらないようみなさんで祈りましょう。